

東京2020オリンピック 自転車競技ロードレース 情報 (vol.2)

裾野市区間がひとつの勝負どころ？

東京2020オリンピック自転車競技ロードレース男子コースは、総延長244キロという長距離のコースです。登った高さの累計を表す「獲得標高」が4865メートルという、オリンピック史上屈指の山岳コースが特徴です。

前半の区間は比較的緩やかなコースで、勝敗を分けるのは後半の富士山麓になりそうです。

選手が最初に勝負を仕掛けそうなのが、レース中盤140キロ地点からの裾野市須山地区。須山交差点から十里木を通り、コース全体の最高標高1451メートルの水ヶ塚公園周辺までのきつい登り区間が、ひとつの勝負どころになるといわれています。



(注) このレース写真は須山地区の写真ではありません。

東京2020オリンピックを盛り上げよう！ 裾野市オリンピック・パラリンピック推進室